

令和7年度 関東・全国大会選手選考について

Ⅰ. 関東中学陸上大会選手選考について

令和7年8月7日(木)～8(金) 栃木県カンセキスタジアムとちぎ(陸上競技場)

関東大会で実施される種目(以降関東種目)

【男子】	1年	100m							
	2年	100m							
	3年	100m							
	共通	200m	400m	800m	1500m	3000m			
		110mH	4x100mR						
		走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投	円盤投	四種競技		
【女子】	1年	100m							
	2年	100m							
	3年	100m							
	共通	200m	800m	1500m	100mH	4x100mR			
			走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投	円盤投	四種競技	

※関東種目の出場制限は、1人1種目(リレーを除く)、1種目3名、リレー3チームです。選考方法は下記の通りとします。

【関東中学陸上大会選手・チーム選考方法】

- ① 通信での関東種目1位=決定 1人(チーム)
- ② 総体での関東種目1位=決定 1人(チーム)
- ③ 総体での関東種目2位=決定 1人(チーム)

☆通信と総体の結果、順位の重複や他種目へ出場などにより順位確定できない場合は、通信・総体の記録を比較し決定する。

例1) 3年男子100m

	通信	総体(共通 100m 出場の3年生)	関東代表者
A君	1位 11"10	----	①A君
B君	2位 11"53	3位 11"71	
C君	3位 11"68	1位 11"33	②C君
D君	4位 11"75	2位 11"68	③D君

例2) 3年男子100m

	通信	総体(共通 100 出場の3年生)	関東代表者
A君	1位 11"20	1位 11"28	①A君
B君	2位 11"33	4位 11"35	③B君
C君	3位 11"50	3位 11"34	
D君	4位 11"54	2位 11"30	②D君

【選手・チーム選考方法の確認事項】

- ①選手の決定は、原則として関東大会実施種目により行う。したがって関東出場権を順位確定で目指す1・2年生は、その該当種目に出場すること。
(学年種目を狙うなら学年種目に、共通種目を狙うなら共通種目に出場する。)
- ②総体には、3年100mという種目がないため、共通100mで3年生の順位を確定する。
- ③順位確定で決まらない場合は、他種目(四種も含む)、他学年等全ての決勝記録を選考の対象とする。(オープンも対象内)ただし、リレーチームについては、決勝記録で共通・1年とも同一中学校が選考された場合はどちらか1チームとする。
- ④もし、3人目の選考が「通信・総体の最高記録者」となり、同記録だった場合は県総体を優先させる。ただし、高さや距離を競う競技はその種目の順位決定方法に従う。(県総体を優先させる小中体連の基本方針を生かす。)それでも決まらない場合は、ジャンプオフや抽選で決定する。
- ⑤2種目または他競技で代表権を得る可能性があるときはどちらに出場するか意思表示をすること。(※関東中体連大会規定により、出場は1種目・1競技となっている)

※関東大会混成競技(四種競技)の選考について

現行のルールだと、混成競技における同得点の場合は同成績(同順位)となる。

しかし、関東大会選考にともない、同順位でも、代表者を決定する必要がある。

よって、同得点が2人の場合は、以下の決め方で決定する。

- ①_種目ごとに得点を比較し勝ち負けを決め、勝ち数の多い競技者が上位の順位とする。
- ②_①でも順位が決まらない、または同得点が3人以上の場合は各種目のどれか1種目で最高得点(同得点者間での比較)をとった競技者を上位の順位とする。
- ③_②でもが決まらない場合は、2番目の種目、3番目の種目と順に種目を下げていき、最高得点(同得点者間での比較)を取った競技者を上位の順位とする。

例) 男子四種競技

		関東代表者
A君 通信1位	2144点(16.13-9m32-1m55-56.10)	①A君
B君 総体1位	2361点(15.81-10m75-1m66-55.90)	②B君
C君 総体2位	1942点(17.13-8m55-1m55-57.41)	
D君 総体2位	1942点(17.13-8m60-1m45-55.54)	③D君

上の例の場合では、D君の方が2種目、C君より勝っているため、同順位、同得点だが、D君が代表権獲得となる。

★天候等の事情（WBGT値・雷等）により代表決定までたどり着けなかった場合の対応について

①時間を遅らせる、タイムレースや試技回数を減らす等の対応を取る中で、出来る限り決勝競技を行い順位決定の場を作る。

②＜予選―決勝とラウンドがある種目において＞「予選を行ったが決勝が行えなかった」という種目は、その予選のタイムを決勝記録と見なし、そのタイムで選考を行う。

※トラック種目において、１位が同タイム(1000分の１秒まで同じ)の場合は、当人による抽選を行う。

考えられる事例①＜通信共通女子１００ｍ予選は実施できたが、同決勝は雷により実施できなかった。＞
⇒この場合は、予選の結果で総合順位をつける。通信１位は関東出場権利が与えられるので、その１位に
関東出場権利が与えられる。

考えられる事例②＜通信共通男子４００ｍ予選・決勝ともに実施できた。総体共通男子４００ｍ予選は実施できたが、決勝は雷の影響で実施できなかった。＞
⇒この場合は、通信の決勝は実施できているので、通信の決勝１位には関東の出場権が与えられる。総体
に関しては、予選の結果で総合順位をつけ、その１位・２位に関東出場権利が与えられる。

③＜決勝のみの種目において＞決勝の競技が行えなかった場合（競技途中で打ち切りになった場合も含む）は、通信陸上と県総体で実施できた決勝記録が選考の対象となる。

※トラック種目において、１位が同タイム(1000分の１秒まで同じ)の場合は、当人による抽選を行う。

考えられる事例①＜通信共通男子３０００ｍ決勝は実施できたが、総体共通男子３０００ｍ決勝はWBGT値
３１以上がおさまらず、実施できなかった。＞
⇒この場合は、通信の決勝が実施できているので、通信の決勝記録で選考を行う。よって、通信の１位・２
位・３位に関東出場権利が与えられる。

④通信・総体両日とも実施できない種目があった場合、その種目の令和７年４月１日～７月２８日までに実施された公認記録上位者から決定する。なお、県外の大会での記録は、本人および指導者が記録の証明書を提示し、申告をすること。

※以上のことを踏まえ、選考会議の中で協議し、選手やチームを決定していく。

2. 全日本中学校陸上競技選手権大会選手選考について

令和7年 8月17日(日)～20日(水) 沖縄県(タピック県総スタジアム)

下記表【全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録】を通信陸上大会、県総体において突破した選手に出場資格が与えられる。

※四種競技においては、中学生選手権大会も指定突破大会としている。

※なお、四種競技において、それぞれの種目で標準記録を突破しても、単独種目の参加は認めない。

リレーは、通信陸上大会、及び県総体の共通リレー決勝においてそれぞれ1位のチームの記録を比較し、記録のよいチームを山梨県代表として出場資格を与える。

(男女各1チーム。同タイムのときは県総体優先)

【全日本中学校陸上競技選手権大会 参加標準記録】【追風参考記録は対象としない】 令和7年度改定

男 子		女 子	
種 目	標準記録	種 目	標準記録
100m	11"10	100m	12"50
200m	22"65	200m	25"80
400m	51"40		
800m	1'59"50		
1500m	4'08"00	1500m	4'38"00
3000m	8'55"50		
110mH	14"70		
走高跳	1m85	走高跳	1m60
棒高跳	4m00		
走幅跳	6m60		
砲丸投	13m30(5k)	砲丸投	12m50
四種競技	25 00 点	四種競技	2630 点
4×100mR	各都道府県1チーム(学校単独チーム)		

【選手・チーム選考方法の確認事項】

上記の標準記録を突破した者が全国大会の出場資格を獲得する。ただし、各都道府県で標準記録突破者が合計10名に達しない場合、合計10名までを専門部から推薦し、協議の上、出場資格が与えられる。(平成27年度より適用)

選考方法について、以下の通りとする。(リレーには推薦枠はない。)

- ①_通信大会、県総体においてその種目に出場し、上記の標準記録を突破できなかった者で、以下に示す設定記録(追風参考記録は対象としない)を令和7年4月1日～7月28日の期間で開催された公認大会でクリアした者を推薦出場の『選考対象者』とする。四種競技の単一種目における記録も選考の対象とする。なお、県外の大会での記録は、本人および指導者が記録の証明書を提示し、申告をすること。
- ②_選考対象者が推薦枠の人数を上回った場合の選考方法は、10名を超えた場合は、標準記録に対する達成率で優劣を付け、上位の選手から選考する。(駅伝大会の記録は対象外とする)
- ③_②の方法で選考対象者10番目のランキングが複数になった場合は選考対象の記録が、【①県総体②通信陸上大会】の優先順位として優劣をつける。それでも決まらない場合は、10番目の選手は選考しない。
(例1:達成率98.0% A君通信100m B君県総体走幅跳の場合 ⇒ B君を選考)
(例2:達成率98.0% 位A君県総体100m B君県総体走幅跳の場合 ⇒ 両者とも選考しない)

★追風参考記録は選考の対象としない。

★日本中体連大会規定により、出場は1種目・1競技となっている。

★選手の選考は、県総体終了後の「関東全国代表者選考会議」において決定する。

※選考対象者が推薦枠の人数を上回った際の例

例	種目と標準記録	記録	達成率 (計算方法)小数点第二位以下切り捨て	優先順位
Aさん	100m(11"10)	11"14	99.6% (1110÷1114)	1
Bさん	走幅跳(6m60)	6m55	99.2% (655÷660)	2
Cさん	1500m(4'08"00)	4'10"50	99.0% (24800÷25050) ※分は秒に直す	3
Dさん	110mH(14"70)	14"95	98.3% (1470÷1495)	4

⇒このパターンだと、Aさんが最優先となる。

【推薦出場選手選考設定記録】令和7年度改定

	男 子	女 子
種 目	設定記録	設定記録
100m	11"30	12"72
200m	23"00	26"30
400m	52"30	
800m	2'02"00	2'19"00
1500m	4'14"50	4'43"00
3000m	9'06"50	
110mH	14"95	
100mH		14"85
走高跳	1m80	1m55
棒高跳	3m80	
走幅跳	6m35	5m15
砲丸投	12m90	12m00
四種競技	2450点	2580点

※この設定記録は過去全国大会各種目出場者の予選結果の記録（記録順に概ね2／3に位置する記録）を参考にして強化部で設定しました。（四種競技は総合得点）
なお、棒高跳、走高跳は安全面も考慮し、開始試技の高さを考えた設定をしています。